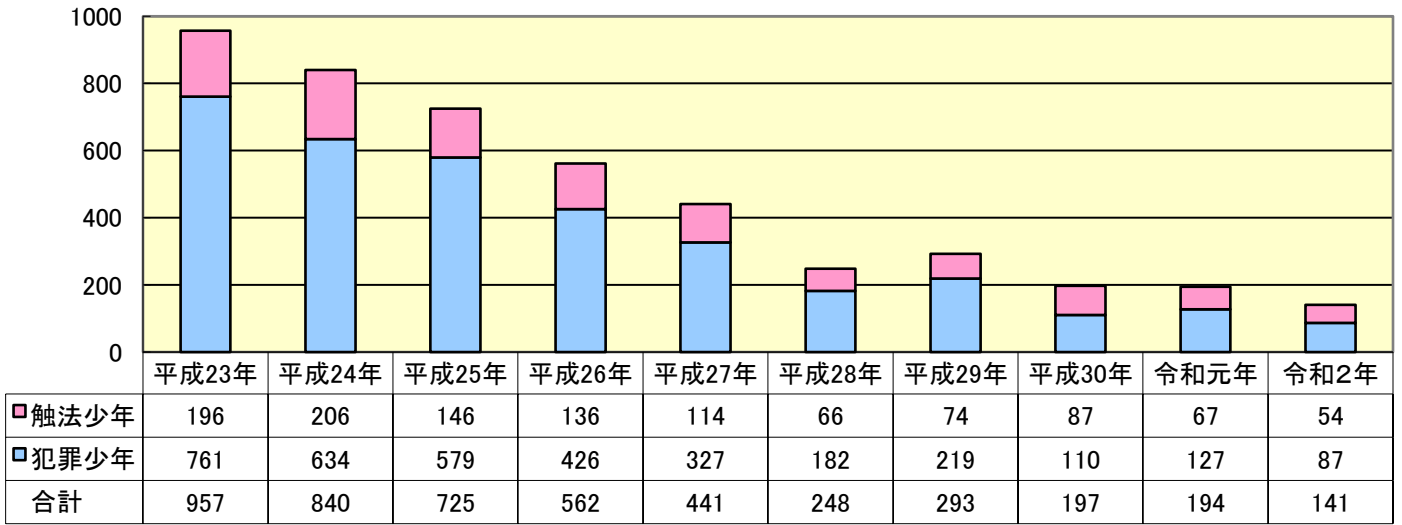


県内における少年非行の概要(令和2年中)

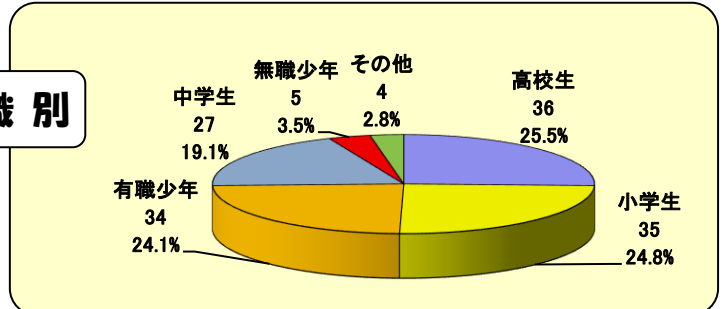
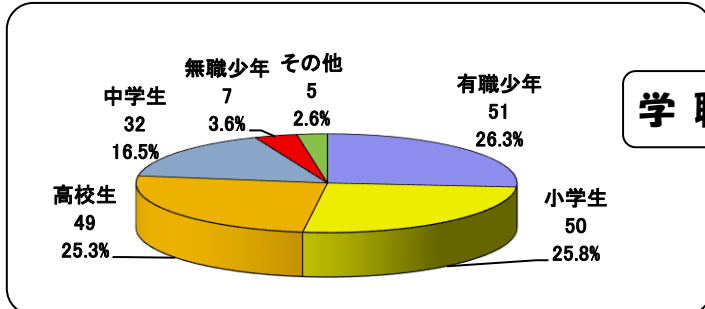
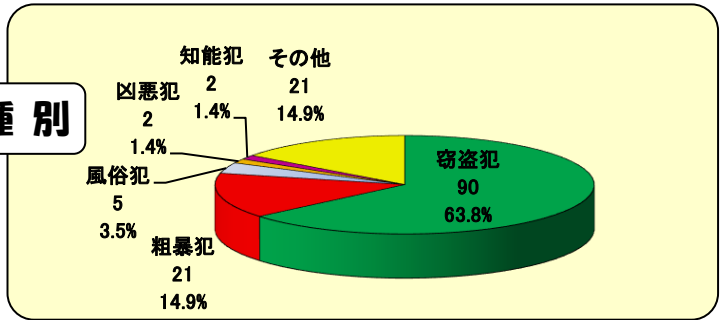
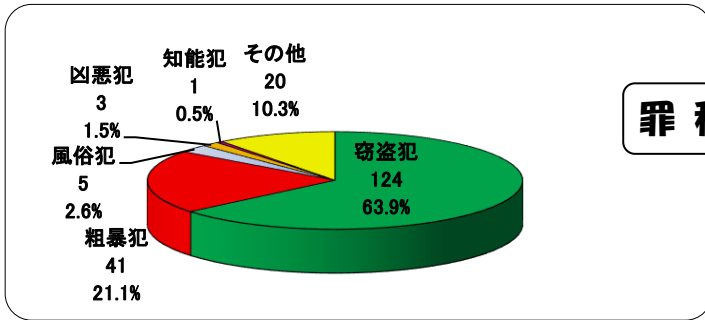
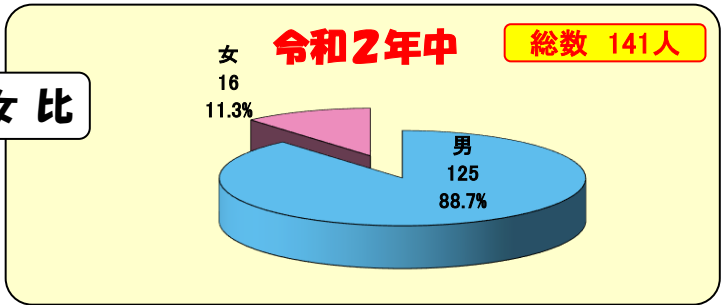
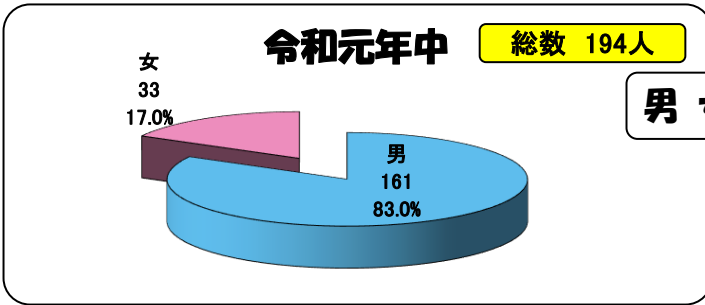
刑法犯少年の検挙・補導人員は、統計が残る昭和26年以降最少となりました。

刑法犯少年検挙・補導人員の年別推移



※ 刑法犯少年検挙・補導数は犯罪少年（14歳以上20歳未満）と触法少年（14歳未満）の合計です

刑法犯少年の推移



特徴

- 男女別の比率については、男性が88.7%を占めている。
- 罪種別については、窃盗犯が最も多く、次いで粗暴犯等の順となっている。
- 学職別については、高校生が最も多く、次いで小学生が多い。

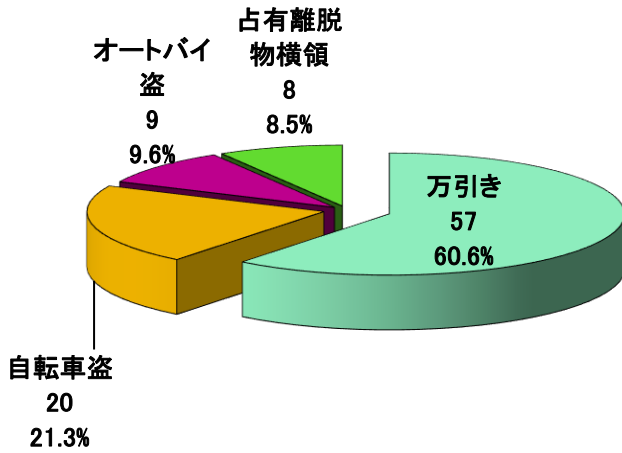
初発型非行(万引き・オートバイ盗・自転車盗・占有離脱物横領)の状況

※ 初発型非行とは、非行の手口や動機が比較的単純で、初期段階の非行といわれる「万引き」「オートバイ盗」「自転車盗」「占有離脱物横領」の4罪種をいいます。

初発型非行：令和元年中

総数 94人

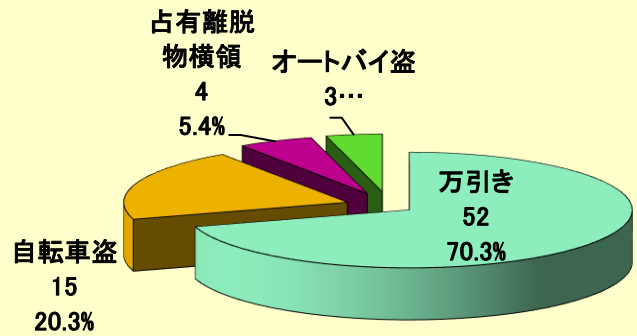
罪種別



※全体の60.6%が万引き

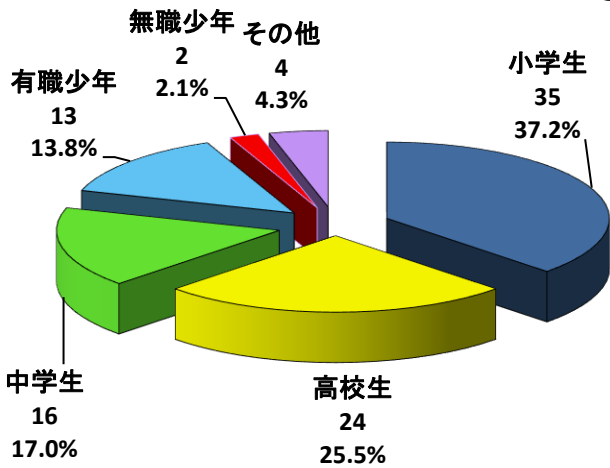
初発型非行：令和2年中

総数 74人

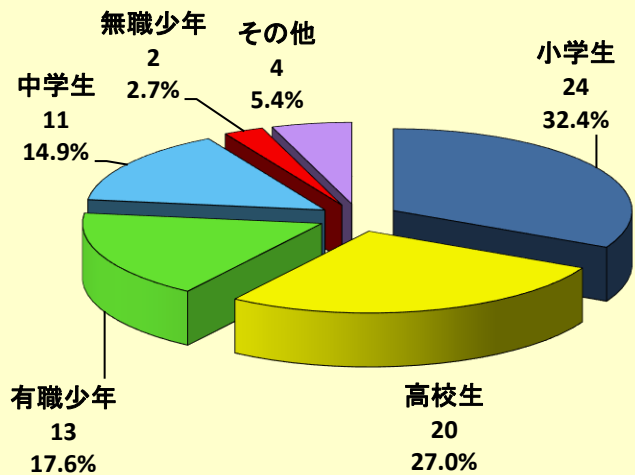


※全体の70.3%が万引き

学職別



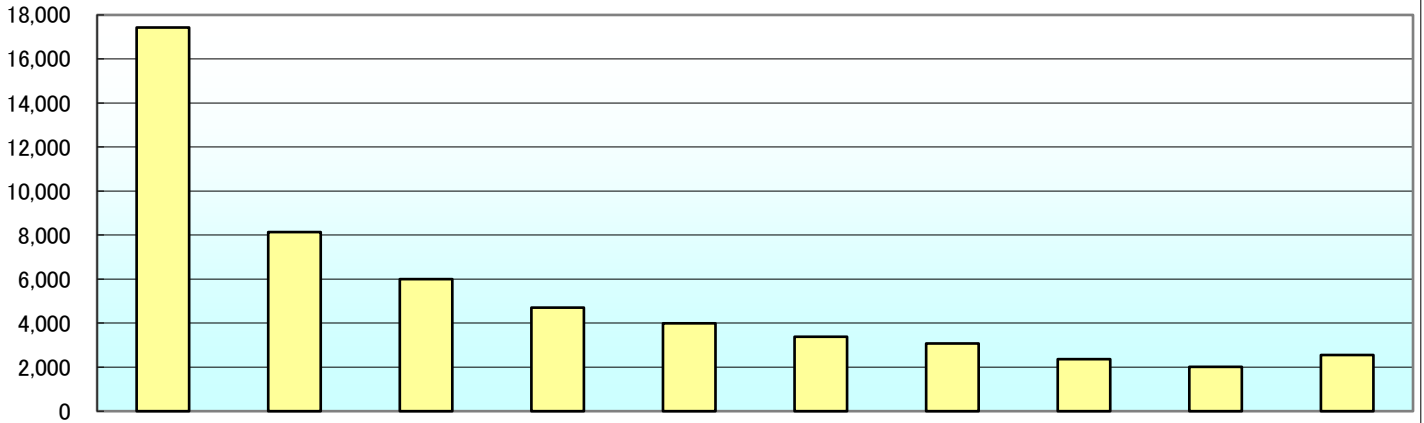
※小学生、高校生の順に多い



※小学生、高校生の順に多い

不良行為少年の補導人員の推移

補導人員年別推移

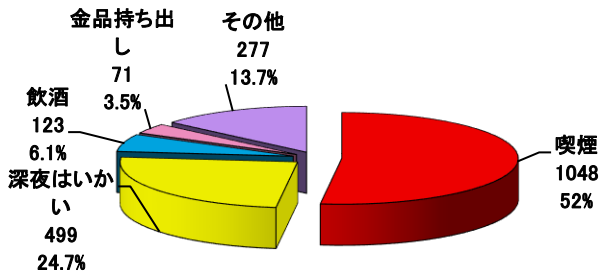


	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
補導人員	17,423	8,134	5,999	4,704	3,998	3,376	3,081	2,365	2,018	2,557

補導人員：令和元年中

総数 2,018人

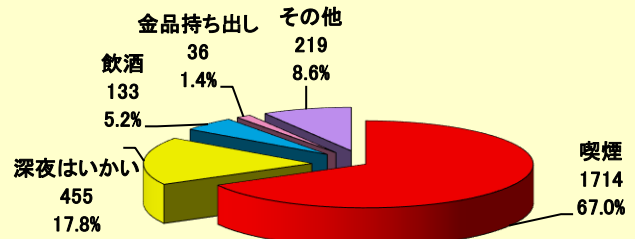
行為別



※ 喫煙と深夜はいかいで76.7%を占める。

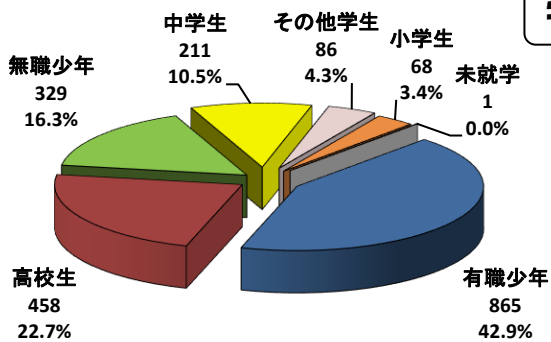
補導人員：令和2年中

総数 2,557人

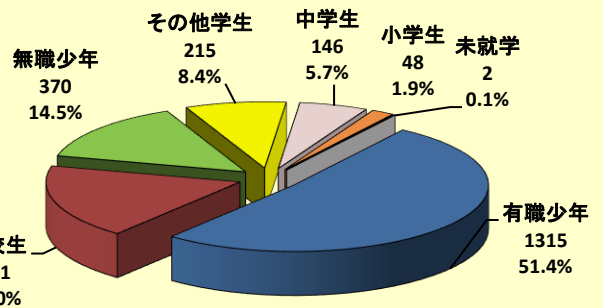


※ 喫煙と深夜はいかいで84.8%を占める。

学職別



※ 有職少年が全体の42.9%を占める。



※ 有職少年が全体の51.4%を占める。